

日本音楽集団
PRO MUSICA NIPPONIA
第236回定期演奏会

多毛留 & 和楽卡夜又俱樂部

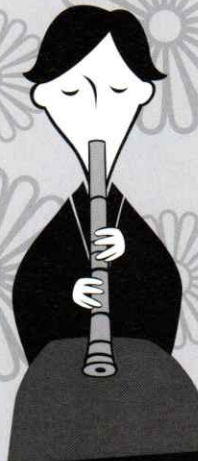
2022年6月17日(金)
18時30分開演

会場：台東区生涯学習センター
ミレニアムホール



本日の指揮者
田中元樹

演出 久保田晶子
構成 山崎千鶴子
舞台監督 中島隆



【主催】 特定非営利活動法人

日本音楽集団

TEL: 03-3378-4741

www.promusica.or.jp



【助成】

文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁

【後援】 公益財団法人日本伝統文化振興財団
JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

1. 「組曲 幻獣絵巻物」 篠田大介 作曲／2013年

この作品は、日本に古くから言い伝えられている様々な個性的な幻獣たちを音楽的に表現し、絵巻物のように一つの組曲としてまとめたものである。

[笛] 新保有生
[尺八Ⅰ] 元永拓 川俣夜山
[尺八Ⅱ] 米澤浩 田野村聡
[三味線] 長井麻江
[琵琶] 久保田晶子
[二十絃Ⅰ] 熊沢栄利子 喜羽美帆
[二十絃Ⅱ] 桜井智永 森真理子
[十七絃Ⅰ] 久東寿子
[十七絃Ⅱ] 佐藤里美
[打楽器] 山内利一 富田慎平

1. 鵺 (ぬえ) サルの顔、タヌキの胴体、トラの手足を持ち、尾はヘビであるという、大変奇妙な姿形をした幻獣。ヒョー、ヒョー、とこれまた大変奇妙な声で鳴くと言われており、楽曲の冒頭の尺八はその声を模している。

2. 天狗 言わずと知れた妖怪の代表格で、一般的に鼻が長く、手に葉団扇を持ち、背中には翼があって空を飛翔すると言われている。また天狗は、山の中に住む妖怪と神様の中間的存在「鬼神(きしん)」と考えられており、良きものと悪きもの両方のキャラクターを持ち、人間たちとの関わりも深かったと伝えられている。

3. 人魚 組曲全体のバランスとして、三曲目には何かしつりと美しい幻獣を置きたいと考え、人魚を設定した。ところが、詳しく調べてみると「儂く美しい人魚」は、アンデルセンの人魚姫などから来ていたイメージであって、日本の人魚はなんとも生々しくむしろ不気味な様相であった。中には、頭以外が全て鱗で覆われていたり(もはや人面魚?!)、中年の男性の顔をした人魚だったり、なかなか衝撃的な人魚とも多数出会えたので、ご興味のある方は(あまりお勧めはしないが)調べてみられても良いかもしれない。今回のこの作品は、美しく儂い方の人魚のイメージで作曲されている。水底から泡が立ち昇る中で、ヒラリと尾を翻す人魚、直後に波の飛沫が静かに光る、そういった艶やかで幻想的な情景を描いている。

4. 鳳凰 古くは中国から、日本を始め東アジア域に渡来した伝説の鳥で、孔雀に似ているとも、鶴のように様々な動物の部位が集まった姿形とも言われている。五色絢爛に輝く美しい鳥とされ、また不老不死などにも通じる縁起の良さから、美術や建築などの意匠に用いられていることはご存知の方も多いと思う。その美しさ、華やかさのイメージから、終曲に相応しい幻獣として設定された。楽曲は、冒頭の力強いトゥッティの後、まず箏群、次に管楽器群という順に、各楽器群がそれぞれ技巧的な奏法による華やかなセクションを連ねていき、最後に再び全楽器によるトゥッティとなって鮮やかに終曲する作りとなっている。

(作曲・篠田大介)

2. 「多毛留」 秋岸寛久 作曲／1988年初演 2022年改訂

米倉斉加年 作／偕成社 刊

俳優・演出家で絵師でもある米倉斉加年が1976年に出版した絵本。美しく細密な絵と簡潔な文章で朝鮮と日本との係わりを描いている。漁師の父と、海から流れ着いた母との間に多毛留は生まれた。ある日違う言葉話す男たちが流れ着き・・・
ボローニャ国際児童図書展・グラフィック大賞受賞(1977年)

「多毛留」を作曲したのは35年前、私が日本音楽集団に入団して間もない頃でした。今、楽譜を見ると、邦楽器の扱いに不慣れながらも米倉斉加年氏の想いに少しでも近づこうと苦悩した記憶がよみがえります。書き直したい部分も多少ありますが、それは最小限にとどめ、全体の流れはほとんど初演通りに再演していただくことにしました。音楽は語りの伴奏ではなく対等の立場で物語を進めていけるよう努力したつもりです。日呂登さんの語りで、お父様とは違った多毛留像が創り上げられるのではないかと楽しみにしております。

(作曲・秋岸寛久)

私は福岡の生まれです
玄海灘のむこうは朝鮮です
小さい時から朝鮮を知っています
いま私には たくさんの朝鮮人の友だちがいます
朝鮮はとなりの国です
日本とはながいつきあいの歴史があります
そのことを子どもたちに伝えたいと思って
絵本をつくりました

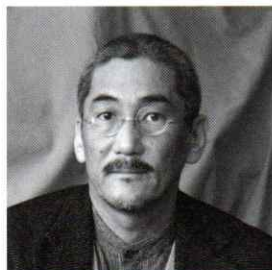
この話は 私のまったくのつくり話です
原話 原本はありません
八年くらい前に一度 雑誌「未来」に発表したものです

1976年9月7日

米倉斉加年(偕成社版「多毛留」より)

【語り】米倉日呂登(助演)

[笛] 新保有生
[尺八Ⅰ] 田野村聡 [尺八Ⅱ] 川俣夜山
[胡弓] 木場大輔(助演) [琵琶] 久保田晶子
[二十絃Ⅰ] 熊沢栄利子 [二十絃Ⅱ] 石井香奈
[十七絃] 丸岡映美
[打楽器] 盧慶順



【語り】米倉日呂登(よねくらひろと)

宇野重吉に師事、初舞台(1982)。実父米倉斉加年が在籍する劇団民藝に入団(1983)演劇を学ぶ。宇野重吉没(1988)後、斉加年が率いる宇野重吉のスタッフと活動、多くの舞台で制作・演出助手・舞台監督・出演。斉加年没(2014)。以後「マサカネ一座」として、斉加年と共に歩いて来た仲間と活動。文芸・演出・出演。現在はリモート勉強会を週2回。2014より毎月行っていた「マサカネ一座」ポランティア朗読劇再開(コロナで2年間休止)。2015年より小冊子「米倉斉加年の仕事」を毎月編集発刊中。

3. 「東京行進曲」(日活1929年) 川崎絵都夫 作曲/委嘱初演

名匠溝口健二が大流行作家菊池寛の原作を映画化したもの。本来は100分程度の上映時間があったが、現存は30分のみ。原作小説連載中に映画化されたため、原作とは異なった結末が描かれている。作詞西條八十、作曲中山晋平による同名の主題歌は当時異例の大ヒットとなり、まだレコードが高価だった時代に35万枚を売り上げたとされる。

豊かな音と共にあった無声映画

片岡一郎

動画を楽しみたいという欲求は人類の歴史と共にあると言っても過言ではない。約3万2千年前に描かれたショーヴェ洞窟壁画には、いかにすれば絵が動いて見えるか、と我々の祖先が工夫をした痕跡がすでに見て取れる。しかし、その試みが結実し、鑑賞に堪える「映画」がスクリーンに映し出されたのは1895年になってからであった。

誕生から約30年間の映画は、現在とは異なる形態で上映されていた。初期の映画には音声が無い、いわゆる無声映画で、多くの国では上映に合わせて音楽家が伴奏をし、劇場を盛り上げていた。日本ではさらに活動写真弁士と呼ばれる話芸者がスクリーンの脇に立ち、ナレーションや登場人物の台詞を生で語って作品を盛り上げた。興味深いことに、活動写真弁士は日本と、その影響下にあった僅かな地域でのみ独特に発達した、世界でもまれな芸能/映画文化である。

最盛期には日本全国に約7千人の活動写真弁士が葉を競い合い、もつとも高名な弁士は総理大臣を上回る収入を得ていたとされる。弁士が気に入らない映画は撮影所に差し戻され、撮り直しを命じられることすらあった。

興行の活殺権を握っていた感のある活動写真弁士だが、その落日は早かった。1920年代後半になると、映画に音声を同調させる技術が完成し、世界は猛烈な勢いで音の出る映画、すなわちトーキーの波に飲み込まれ、弁士達も表舞台からの引退を余儀なくされた。この時期の混乱を描いた作品に傑作ミュージカル『雨に唄えば』や、2012年アカデミー賞受賞作『アーティスト』などがある。トーキー反対ストライキの団長を務めた弁士・須田貞明の実弟が、映画監督・黒澤明であった事実も特筆に値するだろう。

技術革新によって滅びてしまったかに思われた活動写真弁士であるが、芸脈は現在まで繋がっており、近年は国内外で再評価の機運が高まっている。

当時の活動写真館(映画館)は音楽の場であった点についても述べておくべきだろう。当時、庶民がクラシック音楽に触れる、最も簡単な方法が映画の伴奏や、休憩時間に奏される音楽に触れることであった。また和楽器と洋楽器の混成による和洋合奏は、西洋的なテーマを持つ日本映画を上映する為の手段として映画館で育まれた。

本日のように、現代劇を和楽器のみで上映する例は、これまであまり例が見られない。しかしこうした試みこそが、活動写真の野心に富んだ芸術行為と言えるだろう。

ロマン派後期の天才ヴォルフガング・コルンゴルトなどのユダヤ系作曲家が、ナチス・ドイツの台頭に伴いアメリカに亡命し「トーキー」の初期に映画音楽を多く作曲しました。これらがハリウッド映画音楽の一方の基盤となりました。

それに対してヨーロッパなどでは「無声映画の芸術性がトーキーになると失われると考える映画製作者や評論家が多く、当初はかなり懐疑的だった」とされています。

また、活動弁士の片岡さん曰く「映像とセリフと音楽がぴったり合ってしまったら無声映画では無い」「セリフのアドリブが入るのも無声映画の醍醐味」とのこと。そんなこともアタマに置きながら各シーンの音楽を作ってみました!

(作曲・川崎絵都夫)

【弁士】片岡一郎(助演)

【笛】芝有維

【尺八Ⅰ】原郷隆 【尺八Ⅱ】元永拓

【三味線】山崎千鶴子 【琵琶】藤高理恵子

【箏Ⅰ】桜井智永 【箏Ⅱ】三宅礼子

【十七絃】久本桂子

【打楽器】盧慶順 富田慎平



【活動写真弁士】

片岡 一郎 (かたあかいちろう)

2002年に澤登翠に入門。国内外合わせて18か国で公演。これまで弁士として手掛けた無声映画は洋・邦・中・アニメ・記録映画とジャンルを問わずに約350作品。行定勲監督作品『春の雪』や大河ドラマ『いだてん』に弁士役で出演、周防正行監督作品『カッパン!』では出演の他、実技指導と時代考証も担当。2020年10月に活動写真弁士の歴史を綴った『活動写真弁士史 映画に魂を吹き込む人ひと』を出版した。

山崎千鶴子	守啓伊子	箕田司郎	箕田弘大	穂積大志	三山眞正	二代目 長井麻江	杵家七三	三味線	渡辺淳	米澤浩	元永拓	ラファエル広志	藤崎重康	原郷隆	田野村聡	阪口夕山	川俣夜山	大賀悠司	響庭凱山	尺八 久本桂子	三浦元則	西原祐二	筆篋 佐藤里美	三浦はな	東田はる奈☆	笹 久東寿子	岡山亮子	伊藤麻衣子	石井香奈	篠 高橋久美子	篠田大介※	川崎絵都夫	秋岸寛久	相澤洋正	久保田晶子	田原順子	藤高理恵子	久保田晶子
-------	------	------	------	------	------	-------------	------	-----	-----	-----	-----	---------	------	-----	------	------	------	------	------	------------	------	------	------------	------	--------	-----------	------	-------	------	------------	-------	-------	------	------	-------	------	-------	-------

苦米地英一	田村拓男	田中元樹	稲田康	指揮	盧慶順	山内利一	富田慎平	多田恵子	島村聖香※	尾崎太一	白杵美智代	打楽器	渡辺正子	喜羽美帆	山田明美	森真理子	三宅礼子	丸岡映美	久本桂子	城ヶ崎美保	島崎春美※	佐藤里美	桜井智永	熊沢栄利子	久東寿子	岡山亮子	伊藤麻衣子	石井香奈	篠 高橋久美子	篠田大介※	川崎絵都夫	秋岸寛久	相澤洋正	久保田晶子	田原順子	藤高理恵子	久保田晶子
-------	------	------	-----	----	-----	------	------	------	-------	------	-------	-----	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	------	------	-------	------	------	-------	------	------------	-------	-------	------	------	-------	------	-------	-------

☆印は新入団員 ※印は休団中 2022年6月現在	長澤勝俊	永久名管団員	中山美穂子	事務局	副代表 米澤浩	代表 尾崎太一	名管代表 田村拓男	中島隆	楽器・舞台	アート マネジメント 大西愛子※	福嶋頼秀	高橋久美子	篠田大介※	川崎絵都夫	秋岸寛久	相澤洋正	久保田晶子	田原順子	藤高理恵子	久保田晶子
--------------------------------	------	--------	-------	-----	------------	------------	--------------	-----	-------	------------------------	------	-------	-------	-------	------	------	-------	------	-------	-------

◆ 賛助会員へのお誘い ◆

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したことを機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

会費(年会費)

個人会員 10,000円(一口以上) 法人会員 30,000円(一口以上)

賛助会員(口数・五十音順)

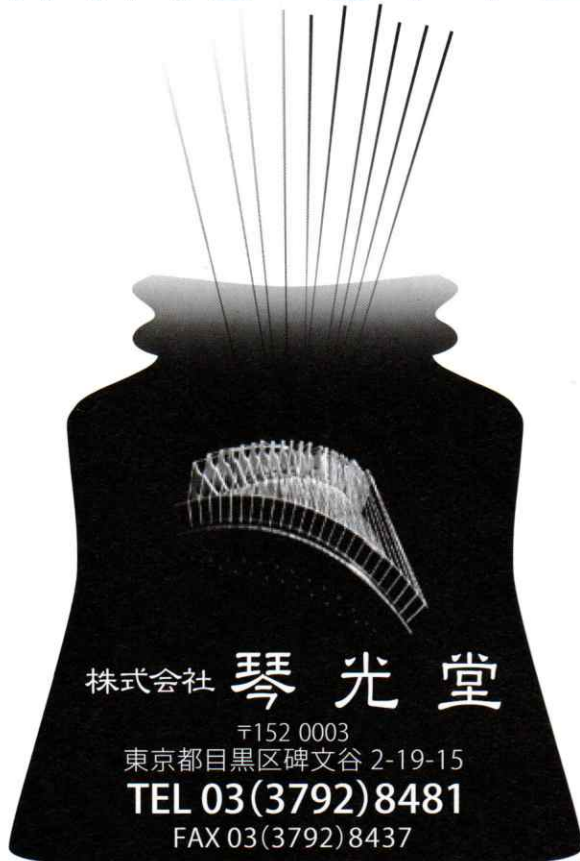
《法人会員》 日凸運送株式会社

《個人会員》 山本福八

天野麻奈実	伊藤哲彌	伊藤美好	伊藤憲夫
池内伸子	柿崎やよい	佐藤玲子	友杉毅
奈良英子	西川浩平	堀保之	三宅一徳
元永明希	元永美代子	森繁美	

他3名、個人会員計19名(2022年4月27日現在)

KINKO STYLE



株式会社 琴光堂

〒152 0003

東京都目黒区碑文谷 2-19-15

TEL 03(3792)8481

FAX 03(3792)8437

特定非営利活動法人
日本音楽集団